

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第10回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

- ・ 地域活性化の方向性について

(2) 自主的審議事項（公開）

- 1) 町内会長連絡協議会の協議の状況について
- 2) 今後の審議について

3 開催日時

令和5年1月19日（木）午後6時30分から午後7時26分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委員：市川 優、太田一巳（会長）、齊藤洋一、田中裕子（副会長）、谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、松澤優作、丸山佳子、山田 孝、吉田 実（副会長）、吉田義昭、渡部忠行（欠席4人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

- ・ 挨拶

【藤井係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

- ・会議録の確認：市川委員に依頼
次第3 議題「(1) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料1に基づき説明

【太田会長】

地域活性化の方向性の作成についての説明であった。以前、同様の資料が配布され説明を少し聞いたと思う。事務局から2月1日を目安に提出依頼があったが、聞いておきたいことがあれば挙手にて発言を願う。

正副会長の事前打ち合せでは、「市全体を見渡せば見所はあるが、28 地域自治区に分けて探すとなると中々難しい。比較的特色がある13 区は書きやすいだろう」と話し合った。

非常に難しくアバウトな作業であり、正解はないと考えている。委員の思いは各々違うが「こういう春日区になったらいい」の思いを書いてもらいたい。各分科会で審議している将来の理想像や普段感じていること等を全員でまとめたいと思う。

【吉田 義昭委員】

構成要素には各自が思っていることを5つか6つ書くということか。要するに、地域協議会の中で方向性を導き出すため提出された意見を絞り込んでいく方法と理解してよいか。

【太田会長】

事務局に確認する。そういう方法でよいのか。

【藤井係長】

提出いただいた意見を確認しながら考えていく部分はあるが、基本的には提出いただいて、それを少しまとめて整理し次回以降で皆さんに見ていただこうと思う。その中で足りないものや逆に書き過ぎと思われるものがあれば、加除修正していきたい。

次回になるかは不明だが、まず構成要素の整理を行って、ある程度整理できたら、

次に全体を表すテーマを考えていきたい。これについては、いつまでに決めなければならないということは特にはない。しかし、この春日区地域協議会として、このぐらいにはまとめたいたいというのがあれば、そこに目掛けて整理していけばいいと思っている。

【太田会長】

2月1日までに提出して、次回に事務局が整理した上で、どういう方向にあるかを考えていく段取りだと思う。

皆さんから提出いただいて、似た文章だが言い回しが違っている等があると思うので、まず事務局がまとめ、事務局もこの時点で5つにはまとめ切れないと思うが、それを切ったり張ったり削ったりして、5つ程度の構成要素をまとめ、さらに全体テーマに絞り作っていく。

ただし、次回で構成要素を5つ程度にまとめられるのか。話し合いが1回で済むのか2回になるのか。それらを踏まえた中で、全体テーマをまとめていくということになるので何回かキャッチボールしながら、皆さんでまとめに入っていくのだと思う。地域活性化の方向性の宿題として、この別紙を提出いただきたい。

以上で次第3 議題「(1) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」を終了する。

次に次第3 議題「(2) 自主的審議事項」の「1) 町内会長連絡協議会の協議の状況について」に入る。

11月24日の町内会長連絡協議会との情報交換では、自主的審議として三本柱で審議していることを説明した。1月12日に、町内会長連絡協議会が持ち帰って協議した結果を伺ったので、事務局から説明してもらおう。

【藤井係長】

- ・説明

【太田会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

【吉田 義昭委員】

町内会長連絡協議会の三役から、口頭による経過報告があったとすれば、もう少し具体的な回答を書面で示していただきたい。分科会からは具体的に提案させていただいたはずだから、口頭であったとしても話し合った感触が知りたい。分科会でどうすれば課題の解決に向かうかという流れを作るため、判断材料をいただきたい。

【太田会長】

私も1月10日に同席した。福祉分科会の「ふれあいコンサート」に関しては、春日区内の町内会長が様々な地域活動組織の役職に就いており、非常に多忙な現状であるため、町内会長連絡協議会として新しい事業を入れ込むのは難しいとの説明を受けた。

【小林センター長】

これまでの経過も含めて説明させていただく。

今回書面で皆様の方にお配りしなかったのは、私の判断で指示したことである。

そもそも、町内会長連絡協議会から文書で回答を求めたわけではないと認識している。これは同じ春日区住民の対話で進めていくもので、敢えて文書のやり取りを必要としないからであり、本日文書を用意しなかったことに他意はない。口頭で聞き取った内容を事務局が作成した記録として、皆様に配布することで対応したい。

回答の内容は別として理解いただきたいのは、町内会長連絡協議会の皆さんが提案内容について非常に肯定的に考えていただいた点である。

町内会長は大変忙しい役職なので、物理的に協力しかねる事が出来てしまうと丁寧に説明されていた。全く提案が否定されたとは思わないでいただきたい。

【太田会長】

センター長から話があったとおり、文書で回答はいただいてないが、口頭でのやり取りを事務局でまとめて委員に渡すということでしょうか。

【吉田 義昭委員】

それでよい。私はイエス・ノーで言っているのではない。非常に難しい課題があると認識している。各町内会長の意見には相当な開きがあるという話も聞いているし、実現に向けて様々な壁があると思っている。どこに問題点があるのかを聞かせてもらい、直していけばうまくいくのではないかと考えており、それぞれ前進する方向で持っていきたい。

【吉田副会長】

私も同席したが、ふれあいコンサートの構成メンバーである高志小学校は、音楽指導の先生がいなかったため参加できないと聞いた。だから、ふれあいコンサートのやり方自体も今後考えていかなくてはいけない。そして町内会長は様々な役職に就いていて、これ以上請負うことは難しいこと。この2点を今後はどうしていくか、福祉分科会の方で、協議されていくべきではないか。

また、観光分科会では意見書をこれからまとめていくこととしており、町内会長連絡協議会と年1回ほど情報交換しながら、意見書にまとめてから、また確認を求めたいと思っている。

【太田会長】

以上で次第3 議題「(2) 自主的審議事項」の「1) 町内会長連絡協議会の協議の状況について」を終了する。

次に次第3 議題「(2) 自主的審議事項」の「2) 今後の審議について」に入る。

各分科会より報告・提案願う。

【吉田副会長】

観光分科会は、町内会長連絡協議会から特に課題は示されていない。検討を任されている状況であり、あと1年で意見書としてまとめられるものがあれば、まとめていきたいと思っている。

あまり大風呂敷を広げて大きな提案をする考えはないが、どんな提案ができるかを地域協議会や分科会のメンバーで協議していきたい。

【本多委員】

1月28日に「防災体制の充実考える会」を開催することになった。上越市防災士会会長の挨拶、活動中の支部から活動報告、その後に情報交換を行うかたちで案内文を郵送済みである。後日、皆さんに会議の進捗を報告したいと思う。

【吉田 義昭委員】

本日、冒頭に町内会長連絡協議会の報告を聞いた。私も色々な方面から直接話を聞いているので、それらを元に、もう少し具体的にどうやって進めるべきかを福祉分科会のメンバーとまとめてみる。

【太田会長】

各分科会の説明に質疑を求める。

(発言なし)

【太田会長】

以上で次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「2) 今後の審議について」を終了する。

次に次第3 議題「(3) その他」である。本日の議題の他、報告や確認すべき事項等について発言を求める。

(発言なし)

以上で次第3 議題「(2) その他」を終了する。

次に次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求め
る。

【藤井係長】

- ・次回の協議会について説明

【太田会長】

— 日程調整 —

- ・次回の地域協議会：2月17日（金）午後6時30分から 市民プラザ（予定）
- ・内容：地域活性化の方向性

自主的審議事項

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

※閉会后、分科会を開催（流れ解散）

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。